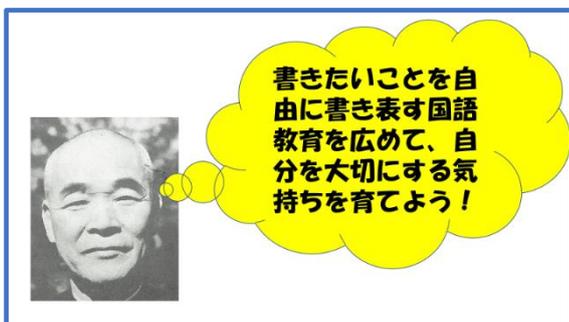


芦田恵之助先生の3つの教えを大切に

竹田小学校では、これまでから芦田恵之助先生の教えを「生活のきまり」として取り入れており、子どもたちの中にも定着しています。



恵之助先生は、竹田地域出身で竹田小学校でも教鞭をとられていました。晩年は全国各地に国語教育を広めてまわられた方です。

「教師も子どもも共に育ちましょう」と説くその恵之助先生の教えには、『時を守ること』『場をきれいにする』『礼を正すこと』の3つがあり、子どもたちには担当より、礼を正すとは、具体的にどんな行動や言動をさすのか、今の子どもたちがより良い人間関係や生活習慣が身につくように、またみんなで学習に向かえるようにと考えながら話をしてもらいました。



こうした話を聞く時に、担任の先生にとってはクラスの子どもの聞く姿勢が気になるところです。明らかに集中していない子がいる時には、その子の隣にまで行って「どうしたの」

「話、わかる」などと声をかけたりすることが多いのですが、今日はどの先生も子どもたちのそばにいて声をかける必要がありませんでした。私は、子どもたちの横顔を見ながら、話を自分事として聞いているか、子どもたちの姿勢だけではなく、まなざしに着目して見ていました。学年が上がるにつれて、話を集中して聞いている様子が見受けられたのが、嬉しかったです。

もう一つ嬉しかったことは、朝会終了後、プロジェクターなどの後片付けを6年生の児童が気持ちよく手伝っていたことです。昨年度も朝会の後には、6年生がプロジェクターや2階のカーテンなどを教師が指示しなくても率先して手伝ってくれていました。何気ない日常の出来事ですが、こんなところに学校風土が培われていくと考えています。今年もいいスタートがきれいなと感じる朝会となりました。

